

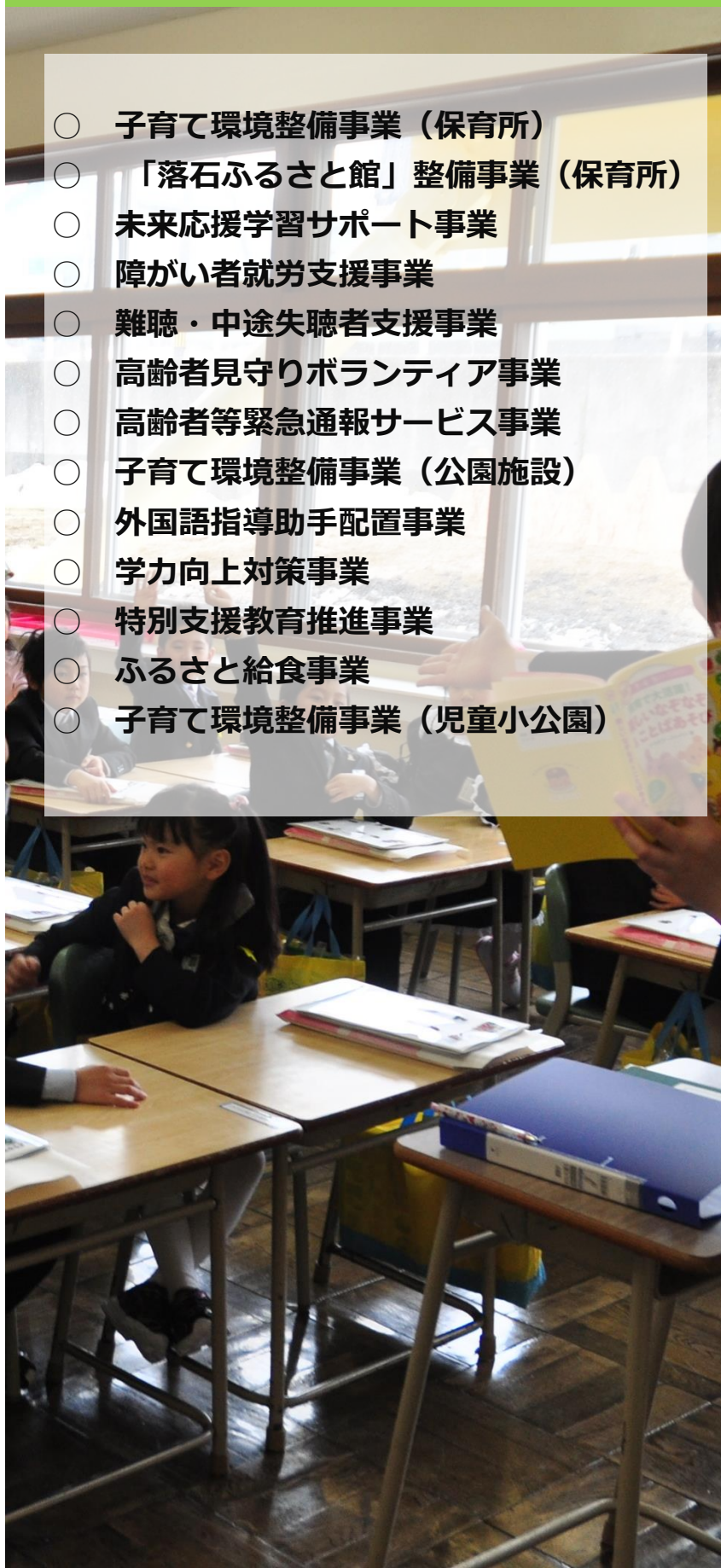
住み続けられる「安心」と「支え合い」の まちづくりプロジェクト

【ふるさと応援基金】



市民が生きがいと誇りを持ちながら、互いにつながり支え合うことで幸せを感じられるまちづくりを進めるとともに、子どもたちの笑顔をまちの豊かさの象徴として市民が共有できる施策・事業に活用します。

- 子育て環境整備事業（保育所）
- 「落石ふるさと館」整備事業（保育所）
- 未来応援学習サポート事業
- 障がい者就労支援事業
- 難聴・中途失聴者支援事業
- 高齢者見守りボランティア事業
- 高齢者等緊急通報サービス事業
- 子育て環境整備事業（公園施設）
- 外国語指導助手配置事業
- 学力向上対策事業
- 特別支援教育推進事業
- ふるさと給食事業
- 子育て環境整備事業（児童小公園）



(2)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト

【ふるさと応援基金】



子育て環境整備事業（保育所）

市立こまば保育所内の幼児用和式トイレを、子供たちが利用しやすい洋式トイレに改修しました。

【寄附者の声】

保育所、小中学校等の環境整備にお役立てください。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

5,400 千円

総事業費

5,400 千円

所管部署

市民福祉部



担当者

幼児用和式便器8組を洋式便器へ改修しました。

【ふるさと応援基金】



「落石ふるさと館」整備事業（保育所）

老朽化が著しい地域会館と落石保育所を一体型施設として整備し、地域コミュニティの推進と世代間交流の活性化を図りました。

【寄附者の声】

保育所整備など子どもたちのためにお役立てください。
いいまちづくり頑張ってください、応援しています。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

14,082 千円

総事業費

14,082 千円

所管部署

市民福祉部



担当者

落石会館・落石保育所の一体型施設としてスタートした「落石ふるさと館」のグラウンド整備と保育所遊具移設工事を実施しました。

(2)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト

【ふるさと応援基金】



未来応援学習サポート事業

生活困窮世帯の子ども及び保護者に対して、学習の場を提供するとともに、学習の場に教員OB等の学習支援員を配置し、学力の向上、学習習慣の定着、進路相談など、総合的な学習の支援を実施している。

【寄附者の声】

地域の発展と未来への希望がある都市になります様に応援します。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

463 千円

総事業費

926 千円

所管部署

市民福祉部



担当者

平成30年度の利用実績として、53回開設し、延べ154名の児童・生徒が参加されました。
保護者からは、学習への関心や理解度が上がり、学力の向上も見られると好評を得ております。

【ふるさと応援基金】



障がい者就労支援事業

障がいのある人の就労に関するご相談・お悩みに応えるため、障がい者就業相談窓口を開設いたしました。

【寄附者の声】

福祉や医療の充実のために寄付金を使ってください。車いすの方や障害のある方が安心して暮らせる街を使ってください。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

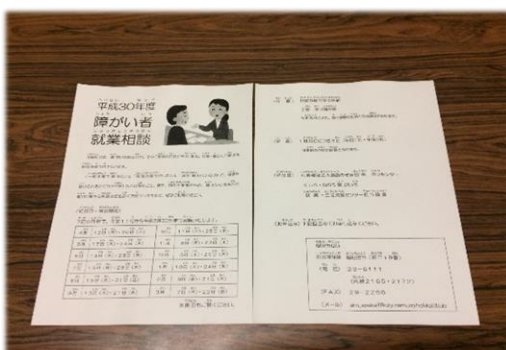
521 千円

総事業費

521 千円

所管部署

市民福祉部



担当者

平成30年度は延べ38名の利用があったほか、相談を通じて職場実習へとつながったケースも2件ありました。

(2)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト

【ふるさと応援基金】



難聴・中途失聴者支援事業

聴覚に障がいのある人や、耳の聴こえに問題を抱えている人を対象とした手話講習会を開催しました。

【寄附者の声】

災害時のすべての人、危険を察知して行動することが困難な障害者などのことを考慮し、市の災害時対策を考えて欲しいです。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

217 千円

総事業費

217 千円

所管部署

市民福祉部



担当者

平成30年度は5名の受講がありましたが、うち4名の方が、この年の秋に行われた手話奉仕員養成講座を受講されていました。この講習会をきっかけに、手話への関心・理解が深まってきていると感じています。

【ふるさと応援基金】



高齢者見守りボランティア事業

高齢者が住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らし続けられる体制の構築を目的として、近隣に住む見守りが必要な高齢者に声かけや安否確認を行っていただける見守りボランティアを育成しています。

【寄附者の声】

高齢者に優しい町にしてください。いつか旅行で行きたいです。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

415 千円

総事業費

415 千円

所管部署

市民福祉部



担当者

平成30年度では、団体ボランティアと小学校に協力していただきました。草刈りや茶話訪問等を行うほか、児童が一人暮らし高齢者宅へ訪問したり、一人暮らしの高齢者へ手書きの年賀状を送ったりしました。また、個人ボランティアは80名の方に協力いただいています。

(2)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト

【ふるさと応援基金】



高齢者等緊急通報サービス事業

ひとり暮らしの高齢者で緊急事態が発生しご自宅の鍵を解錠出来る協力員がいない方に、迅速な救援活動と日常生活の安全確保、精神的な不安解消のために緊急通報装置を貸与しています。

【寄附者の声】

高齢者福祉の充実した街づくりを期待します

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

493 千円

総事業費

493 千円

所管部署

市民福祉部



担当者

定期的に保健師や看護師などの電話による健康相談も行っており、15名の方が利用されています。

【ふるさと応援基金】



子育て環境整備事業（公園施設）

公園施設の安全性や機能保全の確保を図り、乳幼児を連れた保護者が公共施設（都市公園）等を安心して訪れることができる環境整備を推進しています。

【寄附者の声】

保育園や公園整備等、子供が快適に暮らせるまち創りをお願いします。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

3,205 千円

総事業費

3,205 千円

所管部署

建設水道部



担当者

子育て世代の方々が、公共施設（都市公園）等を安心して訪れていただくために遊具等の更新、修繕を行いました。平成30年度は鳴海公園の滑り台、砂場の改修、ブランコの修繕を行いました。

(2)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト

【ふるさと応援基金】



外国語指導助手配置事業

各小中学校に外国語指導助手を派遣し外国語活動の充実を図りました。

【寄附者の声】
この国の将来を担う町の子供たちの教育が充実するように使っていただきたいと思います。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

9,785 千円

総事業費

9,806 千円

所管部署

教育委員会



担当者

今後も外国語活動のより一層の充実を図るため支援して参ります。

【ふるさと応援基金】



学力向上対策事業

学力向上補助教員を市内小中学校に配置し学力向上の推進を図りました。

【寄附者の声】
・子育て支援の充実と子供たちが希望を持って教育を受けられるよう希望します。
・子供たちの教育支援をよろしくお願いします。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

19,845 千円

総事業費

19,888千円

所管部署

教育委員会



担当者

今後も各小中学校のより一層の学力の向上を図るため推進して参ります。

(2)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト

【ふるさと応援基金】



特別支援教育推進事業

お子さんの成長や発達等の情報をひとつにまとめることが可能な、子育て支援ファイル「りんくす」の作成及び配布を行いました。

【寄附者の声】

今住んでいる方がより快適で安心して住み続けられますように。お子さん方が素晴らしい教育の機会に恵まれますように祈ってます。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

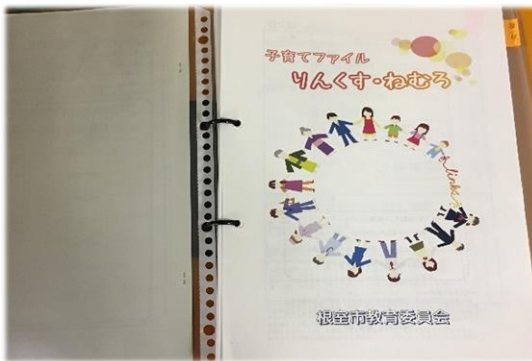
4,630 千円

総事業費

4,640 千円

所管部署

教育委員会



担当者

平成30年度は218名、転入者58名、妊婦160名に配布しました。

【ふるさと応援基金】



ふるさと給食事業

地場産物の消費拡大及び食育を推進するため、「ふるさと給食の日」を3回実施するとともに、地場産物を積極的に活用しました。

【寄附者の声】

地域の子供への教育に力を入れてください。（地域ならではのオリジナルティーのある教育）

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

6,742 千円

総事業費

6,742 千円

所管部署

教育委員会



担当者

第1回目の根室産花咲ガニを使用したカニカレーでは、小学生の8割、中学生の6割が、とてもおいしかったと回答してくれました。

(2)住み続けられる「安心」と「支え合い」のまちづくりプロジェクト

子育て環境整備事業（児童小公園）

児童小公園内に設置している既設遊具の修繕や老朽化した遊具の撤去を行うなど、安心・安全な地域の子どもの遊び場として、環境の整備・充実を図りました。

【寄附者の声】
公園を整備するなど、子ども達が健やかに暮らしやすい町づくりをしていただけるよう願っています。

実施期間：平成30年4月1日～平成31年3月31日

寄附金活用金額

2,225 千円

総事業費

2,225 千円

所管部署

教育委員会



担当者

子どもたちが安心して、気軽に利用できる環境となったことから、屋外における健康的な遊びの機会が増え、また、近隣住民との触れ合いの場として、地域による子育て支援の促進が図られました。

